

# 12日 金曜

マルコ



Bible Reference  
聖書の記述

- 5:1 こうして一行は、湖の向こう岸、ゲラサ人の地に着いた。
- 5:2 イエスが舟から上がられるとすぐに、汚れた靈につかれた人が、墓場から出て来てイエスを迎えた。
- 5:3 この人は墓場に住みついていて、もはやだれも、鎖を使ってでも、彼を縛っておくことができなかつた。
- 5:4 彼はたびたび足かせと鎖でつながれたが、鎖を引きちぎり、足かせも碎いてしまい、だれにも彼を押さえることはできなかつた。
- 5:5 それで、夜も昼も墓場や山で叫び続け、石で自分のからだを傷つけていたのである。
- 5:6 彼は遠くからイエスを見つけ、走って来て拝した。
- 5:7 そして大声で叫んで言った。「いと高き神の子イエスよ、私とあなたに何の関係があるのですか。神によってお願ひします。私を苦しめないでください。」
- 5:8 イエスが、「汚れた靈よ、この人から出て行け」と言わされたからである。
- 5:9 イエスが「おまえの名は何か」とお尋ねになると、彼は「私の名はレギオンです。私たちは大勢ですから」と言った。
- 5:10 そして、自分たちをこの地方から追い出さないでください、と懇願した。
- 5:11 ところで、その山腹では、おびただしい豚の群れが飼われていた。
- 5:12 彼らはイエスに懇願して言った。「私たちが豚に入れるように、豚の中に送ってください。」
- 5:13 イエスはそれを許された。そこで、汚れた靈どもは出て行って豚に入った。すると、

二千匹ほどの豚の群れが崖を下って湖へなだれ込み、その湖でおぼれて死んだ。

5:14 豚を飼っていた人々は逃げ出して、町や里でこのことを伝えた。人々は、何が起きたのかを見ようとやって来た。

5:15 そしてイエスのところに来ると、悪靈につかれていた人、すなわち、レギオンを宿していた人が服を着て、正気に返って座っているのを見て、恐ろしくなつた。

5:16 見ていた人々は、悪靈につかれていた人に起きたことや豚のことを、人々に詳しく話して聞かせた。

5:17 すると人々はイエスに、この地方から出て行ってほしいと懇願した。

5:18 イエスが舟に乗ろうとされると、悪靈につかれていた人がお供させてほしいといエスに願った。

5:19 しかし、イエスはお許しにならず、彼にこう言われた。「あなたの家、あなたの家族のところに帰りなさい。そして、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを知らせなさい。」

5:20 それで彼は立ち去り、イエスが自分にどれほど大きなことをしてくださったかを、デカボリス地方で言い広め始めた。人々はみな驚いた。

イエス様は政治や医療制度を改革したのではなく、人の靈的な問題を解決して、その結果、政治や医療でもできない幸いを与えられました。それは教会の使命でもあります。

しかし自分中心の人々は、自分たちの収入の方がこの哀れな男の解放よりも優先でした。せっかくのイエス様を去らせてしまったのです。そこに

神を無視する世の中の現実があります。

私たちはこの男のように縛られていた者であり、また解放された者です。伝道には立派は知識や理論武装は必ずしも必要ありません。「どんなにあわれんでくださったか」を、知らせましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

